

第6次上尾市地域福祉活動計画における社協支部の取組（計画冊子 P.92～99）

達成目標（上尾市社会福祉協議会が住民とともに目指す姿）

**隣近所や自治会などの生活エリア（範囲）において、
住民同士のつながりが豊かで、福祉力（互助力）が高い地域**

取り組んでいくこと：身近な範囲で誰もがつながり、支え合う地域づくり

取り組んでいく方法：社協支部が主体となって自治会等と連携し、福祉活動の推進を支援する

社協支部の 役割	1. 調査・研究 2. 情報把握・情報共有 3. 研修・講座の開催 4. 広報及び啓発 5. 事業立ち上げ支援（補完的機能含む） 6. 支部拠点の開設（福祉相談・地域連絡所）
令和5年度の 主な取組状況	<p>令和5年度の一年間について、計画進捗における具体的な取り組みについて、社協支部を中心として「実施する最初の年」と位置付けました。「身近な範囲で誰もがつながり、支え合う地域づくり」を現計画の柱とし、自治会等の範囲での福祉が一步ずつでも充実に向かうために、社協支部が新たな取組について実践した一方で、主体的に地域福祉活動を実践していくうえで、課題も出てきている。</p> <p>研修・講座の開催</p> <p>現計画の策定段階で行ったアンケート調査結果を基に、社協関係者だけでなく、一般住民の方々にとって関心が高いテーマで参加を促し、「住民を対象とした学習会・講座」を開催した。この取り組みは、コロナ禍を経て、住民同士が顔を合わせる機会を活発化させるとともに、地域住民の声を拾う貴重な場とする目的の他、「社協」「福祉」を身近に感じてもらうことを目標とした。</p> <p>社協13支部すべてでの開催には至らなかったが、実施した支部については継続を望む声も多数あり、一歩踏み出した成果となった。</p> <p>実施支部：上尾西、上尾南、平方、大谷、原市団地、尾山台団地、西上尾第一団地 参加者総数（実施支部全体）：約500名</p> <p>情報把握・情報共有</p> <p>地域関係者が集まり、地域の実情や課題等について共有し、課題解決に取り組むことを目的として、「地域福祉懇談会」を自治会単位での開催の方向で、各支部において実施した。しかしながら、支部圏域における世帯構成や環境の相違などにより、自治会ごとに活動内容にも差が生じている中、支部として地域全体の課題をとらえることが難しい現状がある。また、短期的に解決できないことも多く、参加することへの負担を感じる声も大きくなっている。</p> <p>これまで15年以上にわたり、毎年開催してきた中で、支部圏域において「集いの場」「見守り」「助けあい」に関する多くの実践活動に結び付いてきたことを踏まえ、今後の「地域住民の声を拾う」という場のあり方は検討していく必要がある。</p> <p>参加者総数（実施支部全体）：約800名</p>
令和6年度の 方針 ・ 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・社協支部の役割について共通認識するとともに、昨年度の実践活動を継続する。 ・また、実践活動の内容を再確認しながら、事業の見直しも含め、支部関係者が負担増の軽減を図り、自主性・主体性をもって地域福祉の推進に取り組めるようにしていく。 <p>重点項目1 研修・講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての支部において、住民の関心ごと（健康等）に対して講座を開催し、参加者一人ひとりが学ぶ機会とするとともに、社協活動を知っていただく場ととらえ、社協のPRをすることで、支部活動への人材発掘・育成を図る。 <p>重点項目2 支部拠点の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部拠点のPR（広報紙、SNS等） ・コーディネーターに対する支援を実施（制度や地域情報に関する研修等）